

個人預金残高が6兆円に到達

～外部環境の変化によらず着実に伸長～

京都銀行（頭取 安井 幹也）は、2025年12月末の総預金残高9兆6千億円のうち、個人預金残高が6兆円に到達しましたのでお知らせいたします。

従来、当行では個人預金をお客さまとの取引基盤として重要視しており、2000年以降進めてきた広域化戦略で築き上げた店舗ネットワークを生かし、付加価値の高いサービスを提供してお客さまの信認を得ることによって、預金量は伸長してきました。

昨今では、特に地方銀行において、地域における人口減少、相続に伴う首都圏への預金流出等の要因により、一般的に預金残高が増加しにくい環境になりつつあります。しかしながら、このような環境下においても、当行では対面での相談業務の高度化やデジタルの利便性強化等により、個人預金残高を着実に伸長させ続けています。

今後も、地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する「総合ソリューション企業」として、地域経済の発展と持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。

記

個人預金残高（速報ベース）（2025年12月31日時点）

月末残高	6兆581億円
------	---------

以上

＜ご参考＞個人預金残高の推移イメージ

